

実験動物に関する自己点検・評価報告書作成ツール（評価者用）

1. 概要

自己点検・評価シート作成にかかるツールは、一般用と評価者用があり、本マニュアルは評価者用に向けた説明となります。

《ツールの利用形態》

- ① 自己点検・評価を行う必要のある組織・団体用として一般用を利用し、利用者は、所定の方法（ダウンロード等）により入手し、ツール活用を行います。
- ② 評価者は、その結果データの提出を受けて、評価用ツールに一般用ツールからデータの取り込みを行い、自己点検にかかる評価を行います。

2. 起動ファイル名（ツール名）

ファイル名：「SelfCheckTool_Rater.xlsm」

3. ツールの利用方法

（1） ツールの取り扱い（考え方）

ツールは、評価先毎 1 ツールで行うため、評価する前にツール名を評価先の名前等に変更しツール入力を行うことにより、整理が容易になります。（手作業です。）

《ツール名の変更》

相手先の名称に変更します。（特殊文字を除きます。）

- ① 一般用のツール名変更
- ② 評価者用のツール名変更

例. テスト試験大学から提出を受けた場合

- 一般用のツール名変更（提出を受けたもの）

SelfCheckTool.xlsm

→ テスト試験大学.xlsm

- 評価者用のツール名変更

SelfCheckTool_Rater.xlsm

→ テスト試験大学（評価）.xlsm など

（2） 取り込むツールの置き場所

ツールと同一フォルダ内に「temp」フォルダを作成し、相手先からのツールの置き場所とします。

ツールでは、「temp」フォルダを優先して参照しています。

（Mac の場合はアクセス権限の付与が必要です。）

4. ナビメニュー

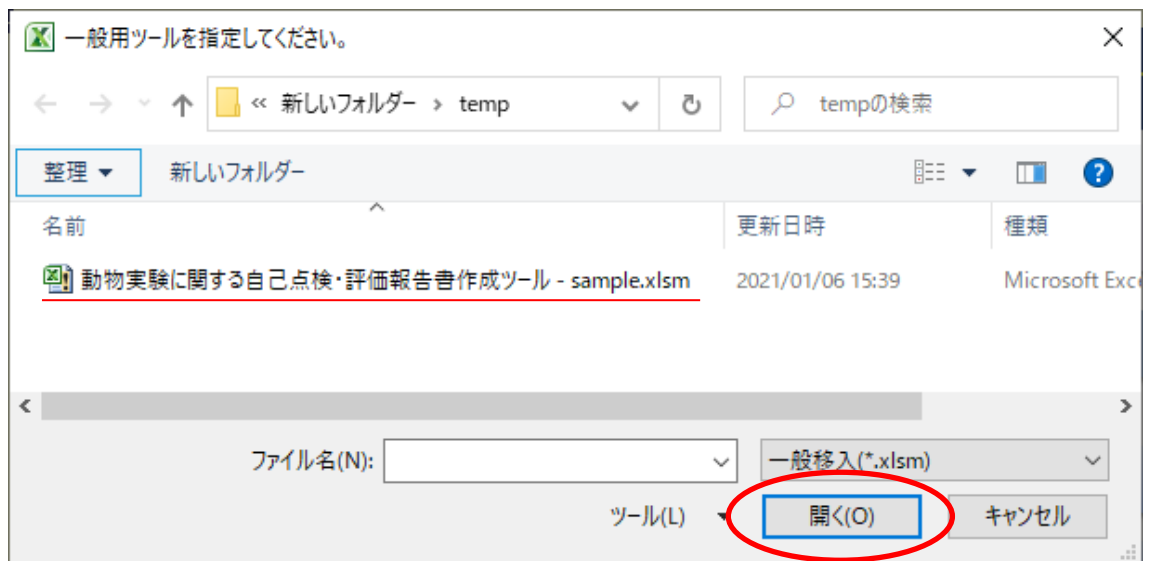
赤枠のボタンを押下し、提出を受けた一般用ツールのデータを評価者ツール側にデータ移入します。

(1) 一般用自己点検・評価シートの取り込み

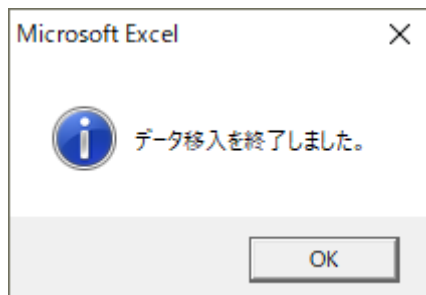
- ① ナビメニュー赤枠ボタン「自己点検・評価シート移入」を押下します。

- ② 一般用ツールを選択します。

評価用ツールは、本ツールと同一フォルダ内の「temp」フォルダを優先して参照します。一般用ツールは、データ移入の前に「temp」フォルダ内に保存します。



終了メッセージです。



(2) データ移入内容の確認

取り込んだデータ内容は、ツールの「機関・組織情報」により、相手先であることを確認します。

機関・組織情報

未 ← 12 TOP 1 →

項目	情報入力 (直接記入)
作成日	2021 年 1 月 6 日
事業年度	2020 年度
機関・組織・会社名	期間・組織・会社名を入力する
作成者	
所属名 (部署名)	所属部署名を入力する
役職	役職名を入力する
名前	名前を入力する

(3) 評価

評価は、カテゴリー項番毎に茶系に色分けされており、評価者は色分けされた項目を基準に評価を行います。



1. 組織・体制の整備

未 ← 0 TOP 2 →

実施機関の長が明確であるか？（厚労省基本指針第2.1）

- ☐ はい ☒ 一部改善すべき点がある ☐ いいえ

検証の結果

- ☐ はい ☐ 一部改善すべき点がある ☐ いいえ

実施機関の長の役職・氏名

役職

[illegible]

氏名

実施機関長の氏名を記入する

■ 根拠となる資料

根拠となる資料 1

■ 判断理由、改善の見通し

判断理由、改善の見通し 1

改善に向けた意見

以上